

Data(2013年9月現在)

所在地：〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7-29-1

スタッフ：野呂千鶴子(教授)、宮田さおり(准教授)、中世古恵美(助教)、升田寿賀子(助手)

URL <http://www.sonoda-u.ac.jp/>



園田学園女子大学

人間健康学部人間看護学科地域看護学領域

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学は今年創立50周年を迎えます。そのなかで人間看護学科は2006年開設の新しい学科です。ここでは人との関わり(Relation)、学び(Study)、プロとして役立つ力(Power)を、大切にしたい3つの価値として、講義・実体験・リフレクションを繰り返して学び、4年間で「向き合う力」「実践する力」「連携する力」を醸成させています。卒業生は、主に関西地域で就労していますが、彼女たちにとって「いつでも気楽に帰ってこられる我が家」のような環境づくりを大切にしています。

Education

どのような教育をしていますか？

本学では、1年次から「地域で暮らす人々」を知り、理解することをヒューマンケアの核とした教育を展開しています。具体的には、統合領域にある2年次の「まちの保健室実習」を通じて地域住民のもつ多様な健康観を理解し、健康増進を目的とした看護活動の展開を学びます。それを基盤に、3年次からの保健師養成課程(選択制)において、地域診断とそれにもとづく公衆衛生看護活動を学び、実習を通じて実践能力を培っていきます。本学のある尼崎市を中心に地域診断をし、実習につないでいるのも大きな特徴です。

Research

どのような研究活動を行っていますか？

人々の暮らし・営みの場である「地域」に興味をもち、住み慣れた地域で「生」を全うするための生活環境に着目した研究を進めています。また、日常生活の中で突然起こる「自然災害」が人々の健康・生活に及ぼす影響についても、震災被災地や豪雨災害被災地において調査研究を実施しています。さらに、自然災害時の保健師活動のあり方について、災害時派遣保健師活動の分析を行い、検討しています。

Collaboration

保健活動と現場とのつながりは？

本学では、「〈地域〉と〈大学〉をつなぐ経験値教育プログラム」が文部科学省の「地(知)の拠点事業」(大学COC事業)に採択され、現在進行中です。この事業では、尼崎市や尼崎市商工会議所と連携しながら、地域課題である「健康づくり」「子ども・子育て支援」などに取り組むもので、今年度から具体的に活動を開始したところです。その他、周辺自治体の組織をあげた保健活動の見直しへの参画や、県が主催する「地域ケアの総合調整研修」を通じて、保健活動の改善に向けた取り組みへの支援を行っています。

ひとこと

開設から8年目を迎え、保健師として活躍する卒業生も増えてきました。私たちは、行政保健師や産業保健師、青年海外協力隊での経験を活かし、学びの経験値が卒業後の実践につながるよう教育を工夫しています。また、大学の地域貢献として、尼崎市や周辺の自治体の人材育成や保健活動の支援などを積極的に行っていきたいと思っています。

……野呂

あなたの研究室を紹介してください！ 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりを紹介してください。

応募について ●まず電話、FAX、E-mailにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院「保健師ジャーナル」編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 hokenshi@igaku-shoin.co.jp